

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	施設内での楽しみを増やす。	職員、利用者間の交流を図る。	職員が間に入りグループディスカッションを行う。楽器を使い馴染の歌をうたう。	12ヶ月
2	41	脱水症状になると血流が保てないため、認知症の行動障害が変動したりする。	1日1500ml以上の水分摂取を行う。熱発者を出さない。	目標の摂取量に達する様に時間配分、飲み物の多種対応を行う。	12ヶ月
3	40	嚥下体操の継続。	むせ込み、誤嚥防止。	食事が美味しく食べられるように口の周りを鍛え、食べ物が喉にスムーズに送り込まれるようにする。	12ヶ月
4	51	文字の読み書きが困難になっている。	文章、手紙が書けるようにする。	鉛筆を持つ事から始め、線や曲線を書き、簡単な文章の練習を毎日行う。	12ヶ月
5	49	暑さ寒さ高齢である事を考慮しながら出かけられるように支援していく。	月に2、3回は希望の場所に出かけられるようにする。	一人一人の希望に添った外出が出来るようにする。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。